

ドキュメンタリー映画

トントン  
ギコギコ

# 図工の時間

上映会

2005.5.15(日)  
ベルブホールにて

レポート

多くの親子連れにもご来場いただき、『トントンギコギコ 図工の時間』上映会が開催されました。野中真理子監督をお迎えしたトークショーの終了後には、臨時のサイン会まで開かれるなどファンにはうれしいサービスも。また上映に併せて会場近くの創作室には「日曜図工室」がオープン。大人も子供もトントンギコギコ と大盛況。スタッフ一同、普段の上映会とはまた一味違った満足感を味わえた一日となりました。(竹内)

## × 上映会の感想 ×

些細なものを宝物にしていた子供の頃の想像力を、大人に思い出させてくれる映画でした。トークショーでは優しい野中監督のまなざしを知ることができました。監督の話にうなずいたり、メモを取っている方々、また、受付に監督を訪ねてくる方々、パンフレットにサインを貰いながら話し込む方々もたくさんいらっしゃいました。映画を見た後、監督のお話を伺うのは初めてでしたが、映画をより理解できたと思います。(桂谷)



## × 図工室の感想 ×

材木、紙、毛糸、針金、ビーズ等の沢山の素材があふれる工作室では、トンカチとノコギリの音が鳴り響き、子供に限らず、パパ、ママも真剣そのもの。そして次第に、魔法のスティック、指輪、椅子、鉛筆立て、カブト虫等の独創的で素敵な作品が数え切れないくらい出来上がりました。満足そうな笑顔が印象的な「図工の時間」でした。(フクダ)



## × 保育室の感想 ×

これまでに数回行ってきた保育付上映会、今回は約10名の子も達と遊びました。多摩市のベテラン保育士さん、そしておもちゃコンサルタントの先生と牛乳パックを使った工作を楽しみました。映画を見終えてお迎えにいらした親御さんの笑顔と、何よりも笑顔で「バイバイ」と手を振って保育室を後にする子ども達の姿が印象的でした。(嶋崎朋美)



『トントンギコギコ図工の時間』 2004年 / 16mm / カラー / 99分  
文化庁文化記録映画 優秀賞 受賞  
2004年度 第78回 キネマ旬報文化映画ベストテン 第3位  
監督 = 野中真理子 語り手 = 犬山イヌコ  
配給・宣伝 = 「トントンギコギコ図工の時間」製作上映委員会

夜間中学ドキュメンタリー映画

# こんばんは 上映会 レポート

2005.4.10(日) ベルブホールにて

山田洋次監督『学校』の元ネタになった中学校を撮影したドキュメンタリー『こんばんは』。上映会の日には天候にも恵まれ、多くの方にご来場いただきました。特に夜間中学・夜間高校を身近に感じてきたであろう50代以上の女性の方が目立ちました。

2回目の上映終了後、監督のトークでは、撮影時のこぼれ話、フィルムに収めきれなかった夜間中学生たちの面白話などがありました。特に会場の方が聞き入っていらしゃったのは、夜間中学生たちが書いた作文でした。戦争による混乱、貧しさ、登校拒否、在日、帰国者などさまざまな事情から学ぶ機会をなくしていた人たち。その人たちが学ぶことで得られた新しい知識、成長している自分、ともに学ぶ仲間に出会えた喜びにあふれていた作文でした。得られるものは、「知識」以上に人とのつながりであり、それを作っていく場所が学校だという監督の思いが胸に響く作品でした。現在、全国で夜間中学・高校は縮小傾向にあります。しかし必要としている人は少なからずいる。このような現状を認識し、訴えていくことが重要だという監督のメッセージが込められているように思いました。(関)